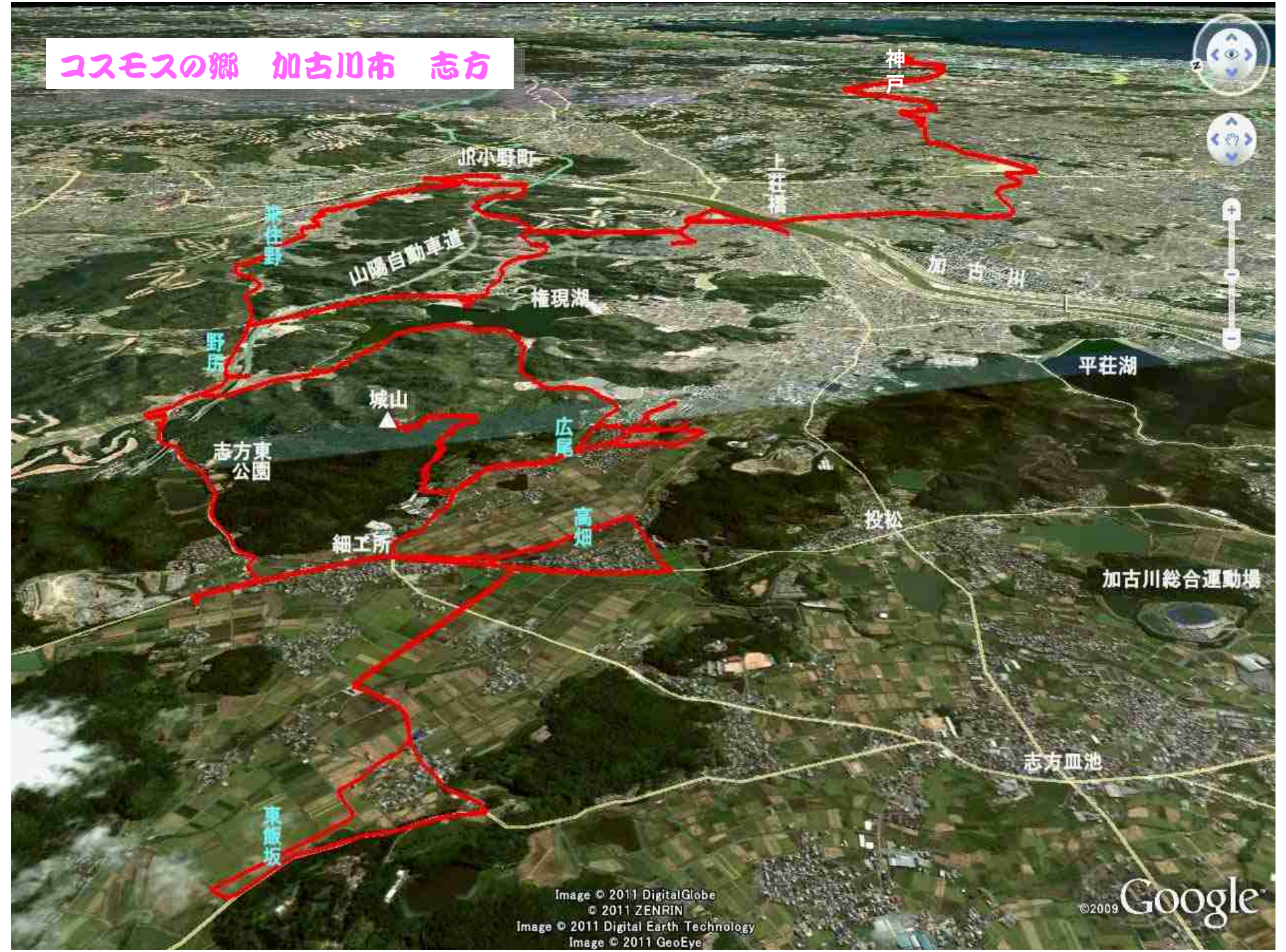


コスモスの里 加古川市志方町 2011.10.17.



コスモスの郷 加古川市 志方





# コスモスの郷 加古川市 志方







志方町野尻 コスモス畑 2011. 10. 17.



志方町野尻 コスモス畑

2011. 10. 17



志方町野尻 コスモ畑 2011. 10. 17.





志方町野尻 コスモス畑 2011. 10. 17.



志方町野尻 コスモス畑 2011. 10. 17.



志方町野尻 コスモス畑 2011. 10. 17.



志方町野尻 - コスモス畑 2011. 10. 17.



志方町高畑 コスモス畑 2011. 10. 17.



志方町高畑 コスモス畑 2011. 10. 17.



志方町東飯坂 コスモス畑 2011. 10. 17.



城山を背に 志方町広尾 コスモス畑 2011. 10. 17.





志方町広尾 コスモス畑 2011. 10. 17.



城山を背に | 志方町広尾 | コスモス畑 | 2011. 10. 17.



城山を背に 志方町広尾 コスモス畑 2011. 10. 17.









## 志方町の背後にある城山(中道子山 271m)に登る 2011.10.17.

中道子山【ちゅうどうしさん・志方の城山】

播磨中部丘陵県立自然公園にあって、南北朝期：赤松丹心の四男・氏則により築かれた赤松氏一族の山城。

本丸、二の丸、三の丸から構成され、すべてを含めると約6600m<sup>2</sup>の規模といわれ、天正年間、羽柴秀吉によって落城したと伝えられている。

頂上からは、東播磨一円を眼下に見渡すことができる。







広尾集落から見る城山 2011. 10. 17.



### 中道子山(志方の城山)案内図

海拔271mの城山公園は  
赤松円忠の四男氏則築城に  
成る中道子山城古跡跡で、  
播州地方の絶好の景勝地と  
して、志方の城山の名で広  
く知られています。



ゴミは持ち帰ろう

城山登山道入口

城山登山口

城山登山口 2011. 10. 17.











城山山頂 2011. 10. 17.

ちゅうどうしさんじょうあと  
中道子山城跡

播磨国守護赤松氏範(氏則)によって築かれ、本丸・二の丸・三の丸から構成され、東播磨で最大の約66,000㎡の広さがあります。

山城跡には、城攻めの時に、斜面に竹の皮を敷いたが火をつけられた、板の上から餅をかかげ食料があると見せつけたなどの伝説があります。

本丸は、標高271mの山頂にあり、土塁跡が残っています。本丸入口の米倉跡は、三方を土塁で囲み、内側には石垣を積み上げています。

二の丸には、大手門と櫓門が遺されました。大手門は、四脚門の構えをもつ山城跡最大の門です。櫓門は本丸への通路に二カ所あります。

三の丸には、落手となる裏門があります。

山城跡北側は、尾根を二本の堀切で切断しています。また、谷間には井戸を作り、堤を築いて貯水池にしています。今も井戸の水は溢れません。

山城跡は、大永年間(1521~1527)までに築城され、火災後規模を大きくして再築城しています。これが現在の中道子山城跡です。この山城跡は、近世城郭へと移り変わる過渡期の姿を残しています。



中道子山城跡補張図

平成13年3月 加古川市教育委員会



城山山頂

2011. 10. 17



城山山頂より南東方向 遠く播磨平野 2011. 10. 17.



権現湖



志方町広尾周辺の田園



広尾のコスモス畑が眼下に



城山山頂部にあるNHK反射板



城山山頂より南側 志方町の田園 左 平荘湖 右奥 高御位山 2011. 10. 17.



志方町の田園 奥に 平荘湖



志方町の田園 眼下に広尾のコスモス畑





広尾集落から見る城山 2011. 10. 17.

ちゅうどうしんさんじょうあと  
中道子山城跡

播磨国守護赤松氏範(氏則)によって築かれ、本丸・二の丸・三の丸から構成され、東播磨で最大の約66,000㎡の広さがあります。

山城跡には、城攻めの時に、斜面に竹の皮を敷いたが火をつけられた、板の上から餅をかかげ食料があると見せつけたなどの伝説があります。

本丸は、標高271mの山頂にあり、土塁跡が残っています。本丸入口の米倉跡は、三方を土塁で囲み、内側には石垣を積み上げています。

二の丸には、大手門と櫓門が遺りました。大手門は、四脚門の構えをもつ山城跡最大の門です。櫓門は本丸への通路に二カ所あります。

三の丸には、落手となる裏門があります。山城跡北側は、尾根を二本の堀切で切断しています。また、谷間には井戸を作り、堤を築いて貯水池にしています。今も井戸の水は溢れません。

山城跡は、大永年間(1521~1527)までに築城され、火災後規模を大きくして再築されています。これが現在の中道子山城跡です。この山城跡は、近世城郭へと移り変わる過渡期の姿を残しています。



中道子山城跡補張図

平成13年3月 加古川市教育委員会

城山の北東に広がる 蕎麦の郷 小野市来住野 2011. 10. 17.





城山の北東に広がる 蕎麦の郷 小野市来住野 2011.10.17.





実りの秋を迎えた加古川市美土呂の田園 遠くに須磨の山が見える 2011. 10. 17.



実りの秋を迎えた加古川市美土呂の田園 遠くに須磨の山が見える 2011. 10. 17.